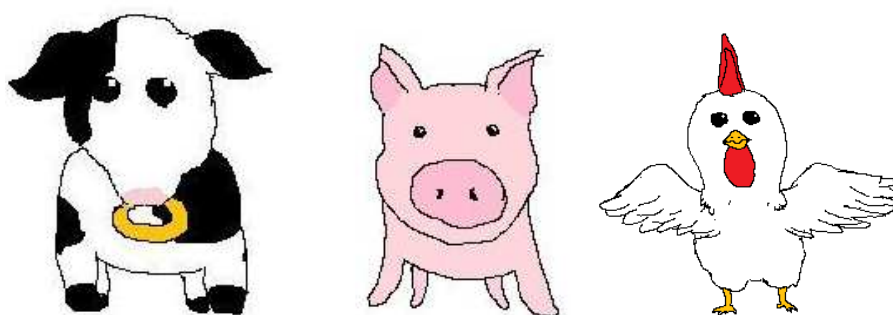


# 畜産業者の皆さまへ

## 産業廃棄物・排出水の適正処理について



平成 29 年 6 月  
青森県

環境生活部 環境保全課

廃棄物・不法投棄対策グループ

TEL : 017-734-9248

水・大気環境グループ

TEL : 017-734-9242

農林水産部 畜産課

飼料環境グループ

TEL : 017-734-9497

# 目次

## 1. 畜産系産業廃棄物の処理について

- ・ 家畜のふん尿の処理 . . . . . P1
- ・ 家畜の死体の処理 . . . . . P2
- ・ 排水の処理 . . . . . P3

## 2. 各法律に規定された基準について

- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律（※1） . . . . . P4
- ・ 家畜排せつ物の管理の適正化及び  
利用の促進に関する法律（※1） . . . . . P9
- ・ 化製場等に関する法律（※1） . . . . . P10
- ・ 水質汚濁防止法（※1） . . . . . P11

## 3. 各種お問い合わせ先、届出先等 . . . . . P12

（※1）以後、それぞれ「廃棄物処理法」、「家畜排せつ物法」、「化製場法」、「水濁法」という。

### <法規制の全体像>

処理対象	区分	関係法	関係基準等	参考
家畜のふん尿	保管・管理する場合	家畜排せつ物法 廃棄物処理法	管理基準 保管基準	P9 P4
	自ら処理する場合	廃棄物処理法	処理基準、施設設置許可（※2）	P5
	委託処理する場合	廃棄物処理法	委託基準	P6～P7
家畜の死体	保管する場合	廃棄物処理法	保管基準	P4
	自ら処理する場合	廃棄物処理法 化製場法	処理基準、施設設置許可（※2,3） 焼却・埋却等の許可	P5 P10
	委託処理する場合	廃棄物処理法	委託基準	P6～P7
排水	特定事業場に 該当する場合	水濁法 家畜排せつ物法	排水基準 管理基準	P11 P9
	特定事業場に 該当しない場合	廃棄物処理法 家畜排せつ物法	保管、処理又は委託基準 管理基準	P4～P7 P9

（※2）次に掲げる焼却施設に該当する場合・・・「処理能力 200 kg/時間以上」又は「火格子面積 2 m<sup>2</sup> 以上」

なお、施設設置許可が不要な場合であっても、大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法及び青森県公害防止条例等の規制をうけることもありますので、詳しくは各地域県民局環境管理部にお問い合わせください。

（※3）埋却を行う場合は、規模にかかわらず最終処分場の設置許可が必要。

☞多量排出事業者（産業廃棄物の年間発生量 1,000 t 以上）に該当する事業者の方は、P 8 もご覧ください。

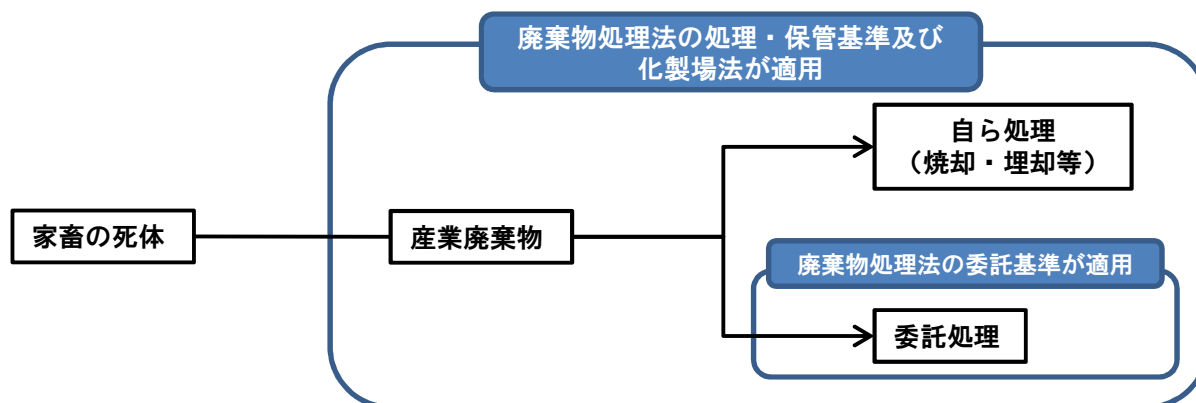


## 家畜の死体の処理

### ➤ 関係法律

畜産業から排出される家畜の死体を、自ら処理する場合には、施設の規模・種類に応じて、「廃棄物処理法」による廃棄物処理施設の設置許可が必要な場合があります。

さらに自己所有の施設で家畜の死体を焼却・埋却処理する場合は、「化製場法」に従って、青森県知事又は市町村長の許可を受ける必要があります。



### (1) 自ら処理する場合

廃棄物処理法及び化製場法に従って適正に処理しなければなりません。

なお、廃棄物処理法について、焼却処理の場合は一定規模以上の場合のみ施設の設置許可が必要となりますが、埋却処理の場合は規模にかかわらず最終処分場の設置許可が必要となることにご注意ください。

**家畜の死体を許可なく焼却又は埋却する行為は、絶対にしないでください。**

**廃棄物処理法及び化製場法違反となり、厳しく処罰されます。**

☞ 不法投棄又は不法焼却に該当する場合、5年以下の懲役若しくは1,000万円以下の罰金又はこの併科となります。

法人の場合は3億円以下の罰金がさらに科せられます。（両罰規定）

処理方法	廃棄物処理法 施設設置許可	化製場法 設置許可
焼却(※)	次のいずれかに該当する場合必要 ・ 処理能力 200kg/時間 以上 ・ 火格子面積 2 m <sup>2</sup> 以上	必要
埋却	必要	必要

(※) 焼却施設の場合は、廃棄物処理法の許可が不要な施設であっても、帳簿の記載・保存の義務があります。また、大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法及び青森県公害防止条例等の届出や自主測定が必要となる場合があります。詳しくは各地域県民局環境管理部にお問い合わせください。

### (2) 委託処理する場合

「家畜の死体」（と畜場等で解体したものは「動物系固形不要物」）を扱うことができる産業廃棄物処理業者で、かつ、化製場法の許可を有する業者に委託して適正に処理しましょう。

## 排水水の処理

### ➤ 関係法律

畜産業により事業場から発生する排水水（家畜の尿、畜舎洗浄水等）を河川や湖沼などの公共用水域等に放流する際には、生活環境保全上の支障がないよう適正に処理しなければなりません。また、一定規模以上の畜舎を有する事業場（※1）は、「水濁法」に基づく特定事業場に該当し、同法に基づく届出を行うとともに、その排水水について排水基準を遵守しなければなりません。

また、その排水水の処理により発生する汚泥については、産業廃棄物として適正に処理しなければなりません。

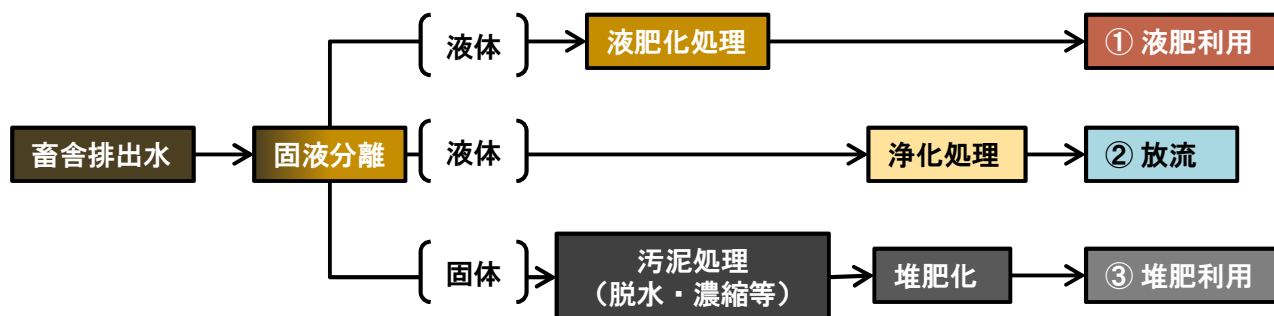
（※1）一定規模以上の事業場（特定事業場）

・ 総面積 50 m<sup>2</sup> 以上の豚房 ・ 総面積 200 m<sup>2</sup> 以上の牛房 ・ 総面積 500 m<sup>2</sup> 以上の馬房



（※2）特定事業場に該当しない場合でも、排水水をそのまま放流してもよいわけではなく、生活環境保全上の支障がないよう廃棄物処理法や家畜排せつ物法に基づき適正に処理する必要があります。

### ➤ 排水水の処理工程について（例）



#### ① 液肥としての農地還元について

液肥として農地還元するためには、悪臭がなく、農用地の規模に見合った量のものを散布しなければなりません。

#### ② 放流について

特定事業場からの排水水は、水濁法に定められる排水基準を満足する水質でなければなりません。排水処理施設を適正に維持管理しましょう。

#### ③ 汚泥の堆肥利用について

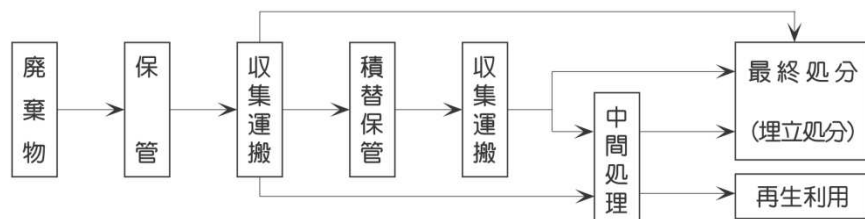
汚泥は、脱水等の簡易な処理だけでは、堆肥としての規格を満足せず、廃棄物に該当するおそれがあります。廃棄物に該当する場合は、不法投棄となりますので、堆肥化するために十分な能力を有する施設で自ら処理するか又は産業廃棄物処業者に処理を委託しなければなりません。

## 2. 各法律に規定された基準について

### 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

～産業廃棄物を処理するにはどうすればいいの？～

廃棄物の発生から処分まで、各段階でそれぞれ基準が定められています。これらの基準を守って適正な処理を行いましょう。



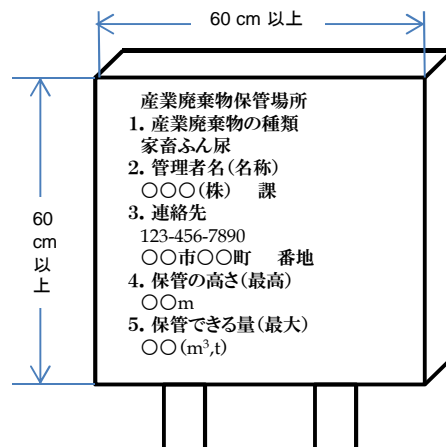
### (1) 産業廃棄物の保管基準（規則第 8 条、規則第 8 条の 13）

#### ① 周囲に囲いを設置

#### ② 保管場所である旨の掲示板設置 (寸法は 60 cm×60 cm 以上)

- ・ (積替) 保管の場所である旨
- ・ 産業廃棄物の種類
- ・ 管理者の名称、連絡先
- ・ 最大積み上げ高さ
- ・ 最大保管量  
を記載したもの

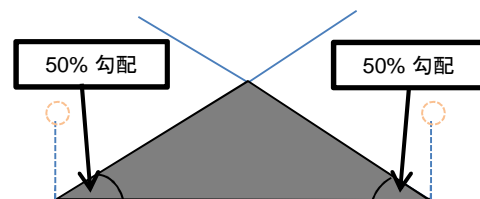
#### < 掲示板表示例 >



#### ③ 飛散、流出、地下浸透、悪臭発生防止の措置

☞ 家畜ふん尿、家畜の死体の場合は、流出・悪臭・地下浸透に特に注意してください！

#### < 廃棄物が囲いに接しない場合 >



#### ④ 保管の高さ制限（屋外で容器に入れずに保管する場合）

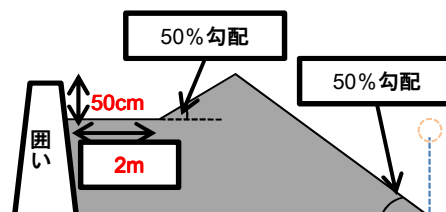
##### (ア) 廃棄物が囲いに接しない場合

- ・ 囲いの下端から勾配 50%(約 26.5 度) 以下

##### (イ) 廃棄物が囲いに接する場合

- ・ 囲いの内側 2 m は、囲いの高さより 50 cm 以下
- ・ 囲いの内側 2 m 以上からは、2 m 線から勾配 50% 以下

#### < 片方が直接廃棄物に接する囲いの場合 >



#### ⑤ ねずみ及び蚊・はえ等の害虫の発生防止



## (2) 産業廃棄物の処理基準【自ら処理する場合】(令第6条)

### 収集運搬

- ① 廃棄物の飛散、流出の防止
- ② 悪臭、騒音又は振動によって生活環境保全上の支障の発生防止
- ③ 運搬車、運搬容器等は飛散、流出、悪臭の漏れのないものを使用
- ④ 運搬車輛の左右両面に運搬車である旨を表示

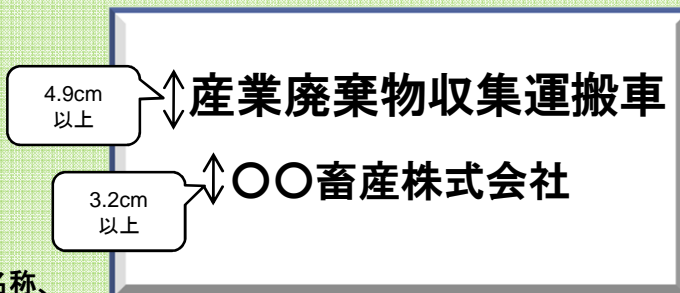
※自ら運搬する場合でも車体左右両面に表示が必要 <産業廃棄物収集運搬車の表示例>

- ・産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨

- ・事業者の氏名又は名称を記載したもの

#### ⑤ 環境省令で定める書類を携帯

- ・氏名又は名称及び住所
- ・運搬する産業廃棄物の種類及び量
- ・産業廃棄物の積載日並びに積載した事業場の名称、所在地及び連絡先
- ・運搬先の事業場の名称、所在地及び連絡先を記載した書面



### 中間処理

#### ➤ 中間処理の基準 (令第6条第1項第2号)

- ① 廃棄物の飛散、流出の防止
- ② 悪臭、騒音又は振動による生活環境保全上の支障の発生防止
- ③ 廃棄物を焼却するときは、焼却設備を用いること
- ④ 保管を行うときは、保管基準に従うこと

☞ 処分に係る保管は処理能力の14日分以内

#### ➤ 構造の基準 (※) (規則第12条)

- ① 廃棄物の処理に伴い生ずる排ガス及び排水、薬剤等による腐食を防止すること
- ② 廃棄物の飛散、流出及び悪臭を防止するための構造、又は必要な設備であること
- ③ 施設から排水を放流する場合は、生活環境保全上の支障が生じないよう必要な排水処理施設を設けること
- ④ 廃棄物の貯留設備は、施設の処理能力に応じ、十分な容量を有するものであること

#### ➤ 維持管理の基準 (※) (規則第12条の6)

- ① 施設への廃棄物の投入は、当該施設の処理能力を超えないようにすること
- ② 廃棄物が施設から流出する等の異常事態が生じた際は、直ちに施設の運転を停止し、流出した廃棄物の回収その他の生活環境の保全上必要な措置を講ずること
- ③ 施設の正常な機能を維持するため、定期的に施設の点検及び機能検査を行うこと
- ④ 廃棄物の飛散、流出及び悪臭の発散を防止するための必要な措置を講ずること
- ⑤ 蚊、はえ等の発生防止に努め、構内を清潔に保持すること
- ⑥ 施設から排水を放流する場合は、その水質を生活環境保全上の支障が生じないものとするとともに、定期的に放流水の水質検査を行うこと
- ⑦ 施設の維持管理に関する点検、検査その他の措置の記録を作成し、3年保存すること

(※) 廃棄物処理法における設置許可が必要な施設の場合に適用されます。

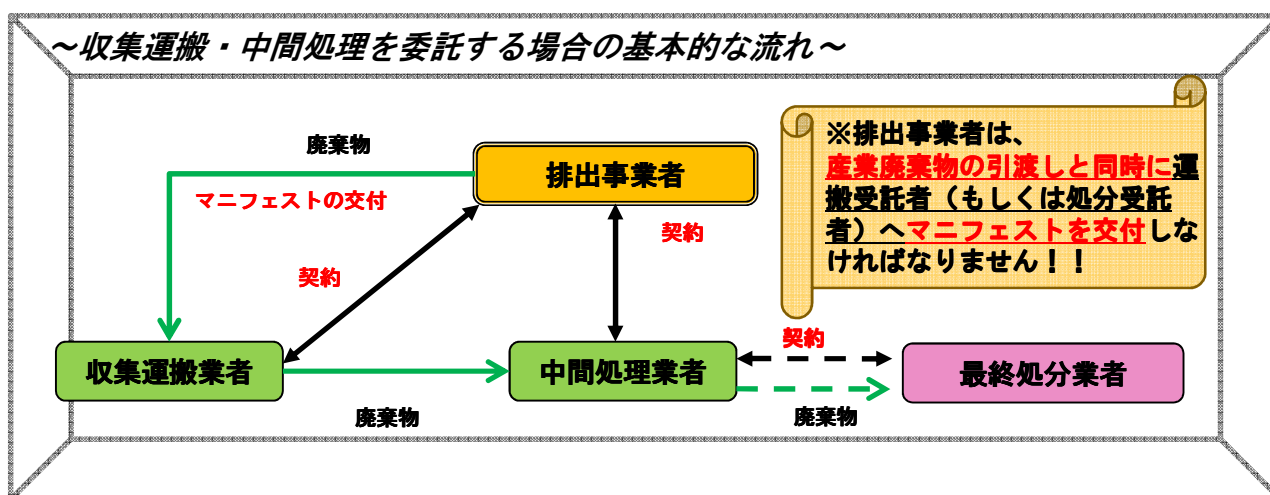
### (3) 産業廃棄物処理の委託基準【処理委託する場合】 (令第6条の2、令第6条の6)

- 委託先が産業廃棄物処理業の許可を有し、委託しようとする産業廃棄物の種類がその事業範囲に含まれていなければなりません。

☞廃棄物処理業の許可証を確認すること。

(青森市及び八戸市を除く青森県内の「産業廃棄物処理業者」名簿を「環境保全ページ」に掲載しています。(http://www.pref.aomori.lg.jp/nature/kankyo/hozenka.html))

- 収集運搬の委託は収集運搬業の許可を持つ者と排出事業者で、中間処理又は最終処分の委託は処分業の許可を持つ者と排出事業者で、それぞれ2者間で契約しなければなりません。



- 委託契約は次の必要事項を記載した書面で行い、許可証等の写しの添付が必要です。(契約終了日から5年間保存が必要)

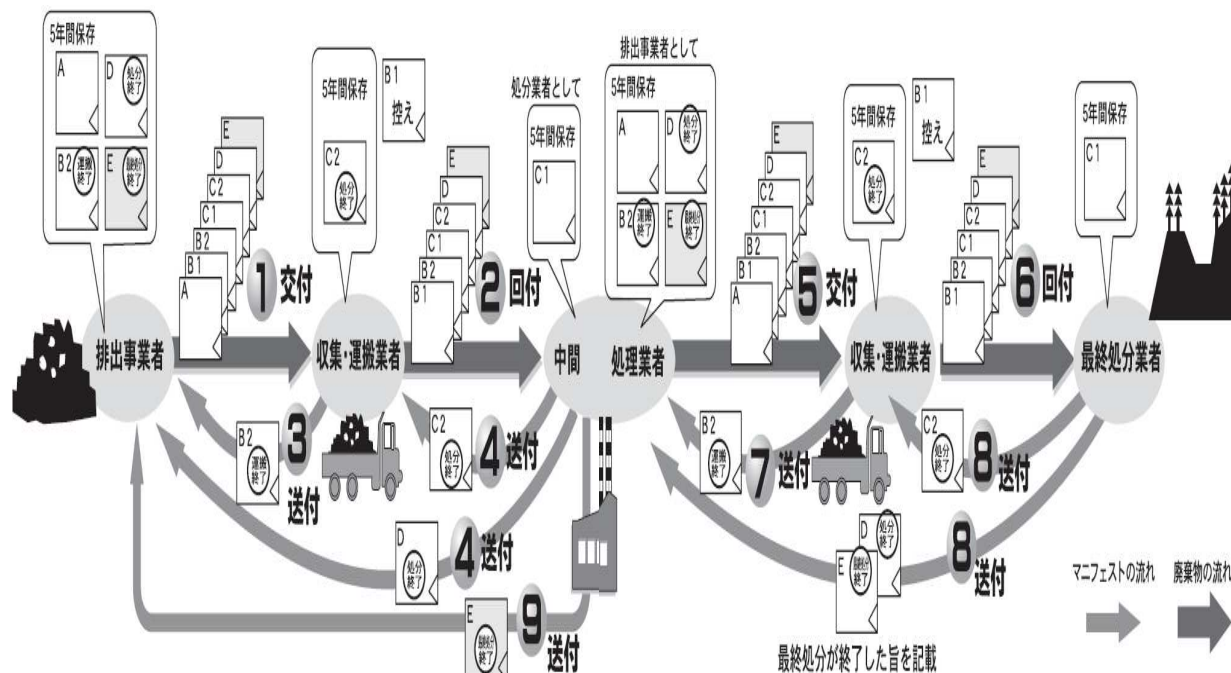
- ① 委託する産業廃棄物の種類、数量
- ② 委託契約の有効期間
- ③ 委託者が受託者に支払う料金（契約金額）
- ④ 産業廃棄物の適正な処理のために必要な事項
  - ・ 産業廃棄物の性状及び荷姿に関する事項
  - ・ その他取り扱い上の注意 等
- ⑤ 受託者である産業廃棄物の収集運搬業者又は産業廃棄物処分業者の事業の範囲
- ⑥ 委託契約有効期間中④の情報に変更があった場合の当該情報の伝達方法に関する事項
- ⑦ 受託業務終了時の委託者への報告に関する事項
- ⑧ 委託契約を解除した場合の処理されない産業廃棄物の取扱いに関する事項
- ⑨ 産業廃棄物の運搬の委託に関する事項
  - ・ 運搬の最終目的地の所在地
  - ・ 積替え又は保管を行うときは、その場所、保管できる産業廃棄物の種類、保管上限
  - ・ 安定型産業廃棄物の積替え又は保管を行うときは、他の廃棄物との混合及び手選別の許否
- ⑩ 産業廃棄物の処分の委託に関する事項
  - ・ 処分場所の所在地
  - ・ 処分の方法
  - ・ 処分に係る処理能力



## ➤ マニフェスト（産業廃棄物管理票）制度（法第 12 条の 3）

排出事業者が産業廃棄物の収集運搬・処分を委託する際に、処理の流れを自ら把握して不法投棄の防止など、適正な処理を確保することを目的とした制度です。

### ～紙マニフェストの流れ～



### 排出事業者の義務

- ① 産業廃棄物の引渡し時に必要事項を記載したマニフェストを交付すること。
  - ② 返却されたマニフェスト（B2, D, E 票）を照合・確認し、A 票に必要事項を記入した上で 5 年間保存 すること。
  - ③ マニフェストに虚偽記載がある場合、又は右下表に示す期限内に返却されない場合、30 日以内に県（青森市、八戸市の場合は各市）へ報告すること。
  - ④ マニフェスト交付者は、各年度のマニフェスト交付状況を県（青森市、八戸市の場合は各市）へ報告すること。（報告期限は次年度の 6 月 30 日）
- ☞ 「環境保全ページ」に様式及び記入例が掲載されていますので参考に記載してください。  
<http://www.pref.aomori.lg.jp/nature/kankyo/hozenka.html>

種類	内 容	最終保管者
A票	排出事業者の控え	排出事業者
B1票	運搬業者の控え	収集運搬業者
B2票	運搬業者から排出事業者に送付され、運搬終了を確認	排出事業者
C1票	処分業者の保存用	処分業者
C2票	処分業者から運搬業者に送付され、処分終了を確認	収集運搬業者
D票	処分業者から排出事業者に送付され、処分終了を確認	排出事業者
E票	処分業者から排出事業者に送付され、最終処分終了を確認	排出事業者

種類	処理業者からの返却期限
B2 票、D 票	交付日から 90 日 (特別管理産業廃棄物の場合は 60 日)
E 票	交付日から 180 日

**廃棄物の委託基準違反やマニフェストの虚偽記載や保存・報告等義務の違反も、不法投棄と同様に廃棄物処理法に抵触し、厳しく処罰されます。**

☞ 委託基準違反は、3 年以下の懲役若しくは 300 万円以下の罰金又はこれの併科。  
 マニフェスト関連の違反は、6 月以下の懲役若しくは 50 万円以下の罰金となります。

## (5) 多量排出事業者について

### ～事業場から発生する廃棄物の量を把握していますか？～

多量の産業廃棄物を排出する事業場を設置している事業者は、廃棄物処理法に基づく処理計画の作成・提出等が義務付けられています。

#### ➤ 多量排出事業者の産業廃棄物処理計画作成義務 (法第12条第9項、第12条の2第10項)

項目	内容
①対象事業者	前年度の産業廃棄物発生量（自ら堆肥化等の処理をした分も含む。）が1,000 t以上の事業所（特別管理産業廃棄物は50 t以上）を設置する事業者
②計画の内容 (統一様式)	事業概要、計画期間、産業廃棄物処理の管理体制、排出抑制、分別、再生利用、処理委託等
③処理計画の提出期限	当該年度の6月30日までに県（青森市及び八戸市内の事業者は各市）へ提出
④実施状況の提出期限	翌年度の6月30日までに県（青森市及び八戸市内の事業者は各市）へ報告

☞ 県HP（青森市及び八戸市内の事業者は各市HP）にて、当該計画及び実施状況を公表します。

#### ➤ 畜産業における多量排出事業者

##### (例) 家畜のふん尿の場合

＜対象となる可能性がある事業場＞

畜種	成畜1頭当たりのふんと尿の 合計排せつ量 (kg/日・頭)	規模 (目安)
牛	50	およそ 50頭以上
豚	5.4	およそ 500頭以上
鶏	0.14	およそ 19,500羽以上

##### 【計算方法】

$$50 \text{ 頭} \times 50 \text{ kg/日} \cdot \text{頭} \times 365 \text{ 日} = 912.5 \text{ t/年}$$

$$500 \text{ 頭} \times 5.4 \text{ kg/日} \cdot \text{頭} \times 365 \text{ 日} = 985.5 \text{ t/年}$$

$$19,500 \text{ 羽} \times 0.14 \text{ kg/日} \cdot \text{羽} \times 365 \text{ 日} = 996.5 \text{ t/年}$$

多量排出事業者に該当するのは、すべての産業廃棄物の合計発生量が1,000トン以上の事業場のため、上記の規模以下の事業場であっても、家畜の死体など他の産業廃棄物を加算すると多量排出事業者に該当する場合がありますことに注意してください。

自分の事業場で「どの」産業廃棄物が「どれくらい」発生するのかを把握するようにしましょう。

☞ 自ら処理する場合においても、その処理の前の時点での発生量にて判断することに注意してください。

# 家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律

## ～家畜の排せつ物の管理は適切に～

畜産業における家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進により、畜産業の健全な発展を図るものです。

畜産業を営む上で、汚水の処理や、堆肥化など、様々な面で重要になる法律です。

事業者は管理基準に従って、家畜排せつ物を適正に管理してください。

### ➤管理基準について

#### (1) 適用対象者

飼育する家畜の頭羽数が下記のいずれかの規模に該当する事業者が対象となります。

☞ 下記に記載のない種類の家畜（めん羊や山羊など）については適用対象外です。

牛：10頭以上	豚：100頭以上
鶏：2000羽以上	馬：10頭以上

#### (2) 管理基準の内容

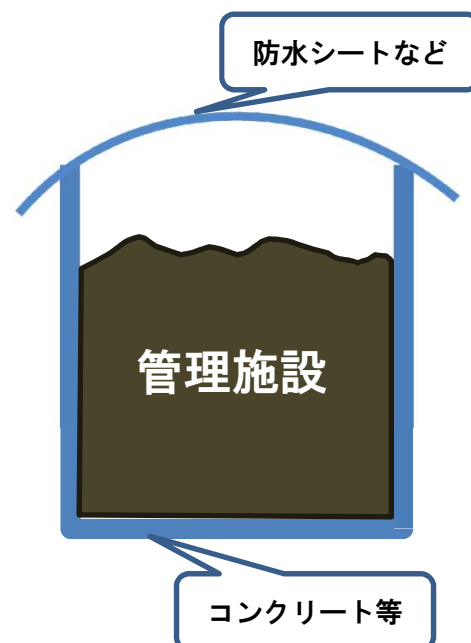
##### ① 管理施設の構造設備に関する基準

- ・ふんなど固形状の家畜排せつ物を管理する施設は、床を不浸透性材料（コンクリートなど汚水が浸透しないもの）で築造し、適当な覆いと側壁を設けること
- ☞ 「適当な覆い」とは、屋根の設置のほか、防水シートで覆うなど簡易な方法でも可能です。
- ・尿やスラリーなど液状の家畜排せつ物を管理する施設は、不浸透性材料で築造した貯留槽とすること

##### ② 管理の方法に関する基準

- ・家畜排せつ物は、管理施設で管理すること
- ・管理施設の定期的な点検を行うこと
- ・管理施設の破損を遅滞なく修繕すること
- ・送風装置等の維持管理を適切に行うこと
- ・家畜排せつ物の年間発生量、処理の方法、処理の方法別の数量について記録を行うこと

☞ 別紙「記入様式」を参照してください。



## 化製場等に関する法律

### ～死亡獣畜を処理するには許可が必要です～

この法律で「獣畜」とは、牛、馬、豚、めん羊及び山羊をいいます。  
(家きん(※1)の死体を処理する際は、化製場法の許可は不要。)

ただし、いずれの場合においても「家畜の死体」は産業廃棄物として、廃棄物処理法の保管基準・処理基準・委託基準が適用されます。また、埋却処分する場合(※2)又は一定規模以上(※3)の焼却施設により焼却処分する場合も、同様に廃棄物処理法が適用され、事前に施設の設置許可が必要となります。

そのため、化製場法と廃棄物処理法をセットで覚えておきましょう。

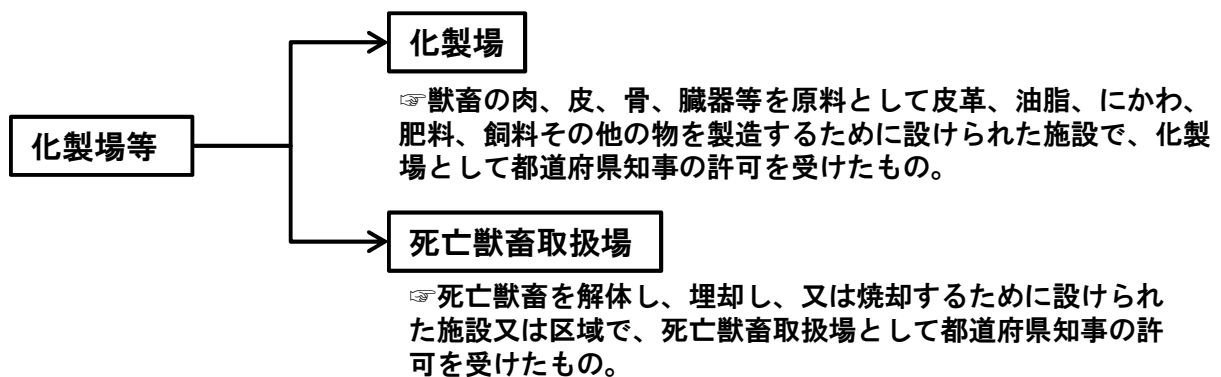
(※1) 「家きん」とは、家畜として飼育される鳥のこと。

(※2) 規模にかかわらず、「最終処分場」の設置許可が必要。

(※3) 「一定規模」とは、次のいずれかに該当する場合です。

①処理能力 200 kg/時間 以上 ②火格子面積 2 m<sup>2</sup> 以上

ただし許可が不要な規模の焼却施設であっても、大気汚染防止法、青森県公害防止条例及びダイオキシン類対策特別措置法による届出等が必要な場合があります。



#### 第2条

- ・ 獣畜の肉、皮、骨、臓器等を原料とする皮革、油脂、にかわ、肥料、飼料等の製造は、化製場以外で行ってはならない。
- ・ 死亡獣畜の解体、埋却又は焼却は死亡獣畜取扱場以外の施設又は区域で行ってはならない。

#### 第3条

化製場等を設けようとする者は、都道府県知事の許可を受けなければならない。

#### 第5条

化製場等の管理者は次に掲げる措置を講じなければならない。

- ・ 化製場等の内外は、常に清潔にし、汚物処理を十分にすること。
- ・ こん虫の発生の防止及び駆除を十分にすること。
- ・ 臭気処理を十分にすること。
- ・ その他都道府県が条例で定める衛生上必要な措置。

化製場等を設ける予定の方は、「青森県化製場等に関する条例」も確認してください。

# 水質汚濁防止法

～きれいな水を流しましょう～

水濁法に基づく特定事業場から公共用水域（河川、湖沼、海域等）へ排出水を放流する場合、同法に基づく排水基準を満たす必要があります。

## ➤特定事業場とは？

畜産業の場合、次のいずれかに該当するような施設（水濁法で「特定施設」と定義）を有する事業場のことをいいます。

- ・総面積 50 m<sup>2</sup> 以上の豚房
- ・総面積 200 m<sup>2</sup> 以上の牛房
- ・総面積 500 m<sup>2</sup> 以上の馬房

青森県、青森市又は八戸市に届出が必要

### 届出様式の入手方法

“青森県電子申請・届出システム” → “組織で検索” → “環境生活部/環境保全課” → “特定施設設置（使用・変更）届出書（水質汚濁防止法）” よりダウンロードできます。

## ➤排水基準について

畜産業で注意が必要な項目は次のとおりです。

- ・有害物質（排水量にかかわらず全ての特定事業場が対象）  
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物（以下「硝酸性窒素等」という。）  
☞畜産業については、平成 31 年 6 月末まで暫定排水基準が適用されます。

- ・生活環境項目（1 日当たりの平均的な排水の量が 50 m<sup>3</sup> 以上の特定事業場が対象（※1））  
生物化学的酸素要求量（BOD）又は化学的酸素要求量（COD）、浮遊物質（SS）、大腸菌群数 等

（※1）豚房施設で八戸前面海域及びこれに接続する河川等に排水を排出する場合は 50 m<sup>3</sup>/日未満の場合も基準が適用されます。

## ＜測定項目＞

有害物質の種類	許容限度
硝酸性窒素等（※2）	100 mg / L (暫定排水基準 600 mg / L)

（※2）アンモニア性窒素に 0.4 を乗じたもの、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素の合計量。

生活環境項目	許容限度
pH	海域以外 :5.8～8.6 海域 :5.0～9.0
BOD	160 mg / L (日間平均 120 mg / L)
COD	160 mg / L (日間平均 120 mg / L)
SS	200 mg / L (日間平均 150 mg / L)
大腸菌群数	日間平均 3000 個 / cm <sup>3</sup>

特定事業場は、水濁法の規定にも基づき、年 1 回以上の排水の汚染状態の測定（以下「自主測定」という。）及びその測定結果の保管が義務付けられています。

この自主測定について、青森県では「排水等自主測定実施要領」を作成しており、特定事業場は同要領に基づき、下記のとおり自主測定を実施し、その測定結果の記録・保存（3 年間）・報告をしなければいけません。

- ・排水量が 1,000 m<sup>3</sup>/日 以上・・・3 か月に 1 回測定
- ・排水量が 1,000 m<sup>3</sup>/日 未満・・・6 か月に 1 回測定

☞測定・記録・保存していない場合、水濁法の規定により罰則の対象となる場合があります。



### 3. 各種お問い合わせ先、届出先等

#### ➤ お問い合わせ先

<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物に関する事</li> <li>・廃棄物処理法に関する事</li> </ul>	➡	青森県環境生活部 環境保全課 廃棄物・不法投棄対策グループ TEL:017-734-9248 青森市環境部 廃棄物対策課 (事業場が青森市内の場合) TEL:017-761-4012 八戸市環境部 環境保全課 (事業場が八戸市内の場合) TEL:0178-43-9107 各地域県民局環境管理部 TEL:下表参照
<ul style="list-style-type: none"> <li>・排水処理に関する事</li> <li>・水濁法に関する事</li> </ul>	➡	青森県環境生活部 環境保全課 水・大気環境グループ TEL:017-734-9242 青森市環境部 環境政策課 (事業場が青森市内の場合) TEL:017-761-4415 八戸市環境部 環境保全課 (事業場が八戸市内の場合) TEL:0178-43-9107 各地域県民局環境管理部 TEL:下表参照
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家畜排せつ物の 管理に関する事</li> </ul>	➡	青森県農林水産部 畜産課 飼料環境グループ TEL:017-734-9497
<ul style="list-style-type: none"> <li>・化製場法に関する事</li> </ul>	➡	青森県健康福祉部 保健衛生課 食品衛生グループ TEL:017-734-9214

#### ➤ 届出先

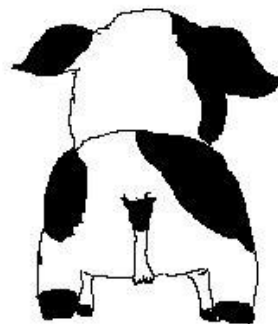
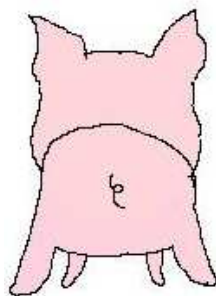
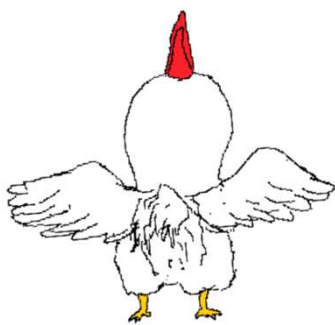
・マニフェスト交付等状況報告、多量排出事業者計画等及び水濁法関係届出の提出先

事業場の所在地	提出先	住所・連絡先
東津軽郡 上北郡(野辺地町、横浜町、六ヶ所村)	東青地域県民局 環境管理部	青森市東造道1-1-1 環境保健センター内 TEL:017-736-9292
弘前市、黒石市、五所川原市、つがる市、平川市、 西津軽郡、中津軽郡、南津軽郡、北津軽郡	中南地域県民局 環境管理部	弘前市大字蔵主町4 県弘前合同庁舎1F TEL:0172-31-1900
十和田市、三沢市、三戸郡 上北郡(七戸町、六戸町、東北町、おいらせ町)	三八地域県民局 環境管理部	八戸市大字尻内町字鴨田7 県八戸合同庁舎2F TEL:0178-27-5111(代)
むつ市、下北郡	下北地域県民局 環境管理部	むつ市中央1-1-8 県むつ合同庁舎新館1F TEL:0175-33-1900
青森市	マニフェスト交付状況報告 多量排出事業者計画等	青森市柳川2-1-1 TEL:017-761-4012
	水濁法関係届出	青森市柳川2-1-1 TEL:017-761-4415
八戸市	八戸市環境保全課	八戸市江陽3-1-111 下水道事務所3F TEL:0178-43-9107

・化製場の許可申請先

管轄地域	提出先	連絡先等
東津軽郡	○東青地域県民局地域健康福祉部 保健総室（東地方保健所）生活衛生課	青森市第二問屋町 4-11-6 TEL:017-741-8116 FAX:017-773-1371
弘前市、黒石市、平川市 板柳町、中津軽郡、南津軽郡	○中南地域県民局地域健康福祉部 保健総室（弘前保健所）生活衛生課	弘前市大字下白銀町 14-2 TEL：0172-33-8521 FAX：0172-33-8524
おいらせ町、三戸郡	○三八地域県民局地域健康福祉部 保健総室（八戸保健所）生活衛生課	八戸市大字尻内町字鴨田 7 TEL：0178-27-5111(代) FAX：0178-27-1594
五所川原市、つがる市、西津軽 郡、北津軽郡（鶴田町、中泊町）	○西北地域県民局地域健康福祉部 保健総室（五所川原保健所）生活衛生課	五所川原市字末広町 14 TEL：0173-34-2108 FAX：0173-34-7516
十和田市、三沢市、上北郡（野 辺地町、横浜町、六ヶ所村、東 北町、七戸町、六戸町）	○上北地域県民局地域健康福祉部 保健総室（上十三保健所）生活衛生課	十和田市西二番町 10-15 TEL：0176-23-4261 FAX：0176-23-4246
むつ市、下北郡	○下北地域県民局地域健康福祉部 保健総室（むつ保健所）生活衛生課	むつ市中央 1-3-33 TEL：0175-31-1388 FAX：0175-31-1667
青森市	○青森市保健所 生活衛生課	青森市佃 2-19-13 TEL：017-765-5280 FAX：017-765-5202
八戸市	○八戸市保健所 衛生課	八戸市内丸 1-1-1 本館地下1階 TEL：0178-43-2313 FAX：0178-43-2231

※ 死亡獣畜取扱場の許可申請先は県ではなく、各市町村となります。各市町村に提出先や記載方法をお問い合わせの  
うえ、設置の許可申請をしてください。



「事業者のための産業廃棄物適正ガイドブック」  
はこちらから

青森県庁 HP

産業廃棄物 ガイドブック

検索

(<http://www.pref.aomori.lg.jp/nature/kankyo/guidebook.html>)